

かわにし

令和3年
2021年
5月

市議会だより No. 232

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

市花りんどう



3月定例会号

もくじ

令和3年度各会計予算案など審議 2

常任委員会報告

総務生活常任委員会 3

厚生文教常任委員会 4

建設公企常任委員会 5

審議結果等一覧・賛否の状況 6

予算委員会報告

一般会計 8

特別会計 10

公営企業会計 11

総括質問 12

一般質問 14

令和3年度各会計予算案など審議

令和3年第1回定例市議会は、2月17日に招集され、市長が新年度の施政方針演説を行い、563億円で編成された一般会計予算案をはじめ、5つの特別会計及び3つの公営企業会計の新年度予算案など、34件の議案が提出されました。

市長は、新年度予算の編成に当たって、最優先事項であるワクチン接種をはじめとした感染予防対策や子どもの応援、地域経済及び市民生活の支援、ポストコロナ時代を見据えた行政サービス改革のための予算を令和2年度補正予算と一体的に編成し、特に子どもたちへの支援を重点化しているとしてきました。このような方針のもと編成された予算案や施政方針に対し、2日間わたって「総括質問」を行い、5会派の代表者が市長の考え方や今後の市政運営のあり方をたどりました。

なお、予算案については、一般会計及び特別会計・公営企業会計の各予算審査特別委員会において、新規・拡充施策に関連する予算を中心に詳細かつ慎重な審査を加えています。とりわけ、コロナで影響を受け

た市民等への支援策や、ポストコロナの行政サービスのあり方について活発な議論が交わされ、9会計全てについて原案のとおり可決しました。

この当初予算案のほかに、今期定例会では、第8期介護保険事業計画の策定等に伴う介護保険料率の改定などを内容とする介護保険条例の改正案も提出されています。本案の審査の過程では、コロナ禍において国民健康保険税の改定を見送っている一方で、介護保険料を引き上げるに至った市の考え方が問われました。

また、新型コロナウイルスワクチン接種に要する経費に係る補正予算案が、会期中に追加提出されました。本案についても常任委員会で審査を加え、ワクチンの供給量が不透明な中で市が準備を進めている状況を踏まえ、ワクチン接種が円滑に進められるよう議論を交わしたところです。

以上のほか、行政手続きにおける押印廃止の流れを受けて、議会運営委員会の発議で、請願提出に際しての押印を廃止する例規改正を最終日に行いました。

議会の活動状況

2月

- 4日○議会運営委員会
- 8日○厚生文教常任委員協議会
- 10日○議会運営委員・常任委員長合同会議
- 議会運営委員会
- 17日○第1回市議会定例会(招集日)
- 25日○第1回市議会定例会(第2日)
- 26日○第1回市議会定例会(第3日)

3月

- 1日○第1回市議会定例会(第4日)
- 2日○議員協議会
- 3日○総務生活常任委員会
- 総務生活常任委員協議会
- 4日○厚生文教常任委員会
- 厚生文教常任委員協議会
- 5日○建設公企常任委員会
- 市立病院整備調査特別委員会

- 8日○一般会計予算審査特別委員会
- 9日○一般会計予算審査特別委員会
- 10日○一般会計予算審査特別委員会
- 11日○議会運営委員会
- 12日○特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会
- 15日○特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会
- 16日○第1回市議会定例会(第5日)

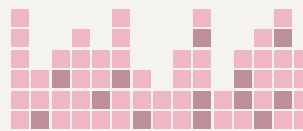
○議員協議会

- 19日○厚生文教常任委員会
- 26日○第1回市議会定例会(最終日)
- 議員協議会
- 建設公企常任委員協議会
- 議会運営委員会

4月

- 9日○議会運営委員会
- 22日○広報委員会

常任委員会報告



総務生活常任委員会

委員

(委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎坂口 美佳 ○麻田 寿美
吉富 幸夫 福西 勝 秋田 修一
中井 成郷 吉岡 健次 斯波 康晴

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、公益的法人等の業務の円滑な実施を確保することを目的に、人的援助として、本市が職員を派遣することができる団体に、「公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター」を追加するため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 本案により、同団体を派遣可能な団体に追加しようとする経緯等の詳細について伺いたい。

答弁 同センターでは、積算や工事監理などの実務を経験することができることが可能であり、技術職員の知識や技術力などの向上を図ることができるため、研修としての意味合いも兼ねて、本市から希望して派遣し

ようとするもので、新年度、本市から同センターに技術職員を派遣する考えである。

令和2年度川西市一般会計補正予算(第11回) 〆分割付託

質問 貸付金元利収入において、川西市開発株式会社への貸付金の償還が本年度見込めないことにより、同社からの貸付金償還金を5億円減額しようとしているが、今回の減額補正に至るまでの同社との協議の経緯を伺いたい。また、全額償還が見込めなければ一部だけでも償還するといった議論はなかったのか。

答弁 コロナの拡大による商環境の変化や通勤客の減少による駐車場収入の減少など、会社の収入を巡る環境が大きく変化したため、貸付金の総額を一度に償還することは困難との判断に至ったものである。また、令和3年度当初予算にもこの償還金は計上しておらず、再度、同社の今後の業績を見据えながら、償還方法等について検討していきたいと考えている。

答弁

市としては、貸付金の確実な償還が主眼であることから、緊急事態宣言発出後の同社の財務状況を考慮すると、分割での償還ではなく、時間をとりながら協議することが両者にとって得策であると考え、今回減額補正しようとするものである。このため、令和3年度については、同社の財務状況等を見据えて引き続き協議を重ねていく考えである。

質問 川西能勢口駅前にデジタルサイネージを設置する工事

費1100万円等を追加しようとしているが、事業内容や今後の維持管理経費の考え方について伺いたい。

答弁 広報業務では複数の媒体で情報を発信することが重要であり、人通りの多い川西能勢口駅南デッキにデジタルサイネージを2台設置して、より多くの市民に情報を届けたいと考えている。通常の市政情報ははじめ、イベント情報等のタイムリーな情報を即時に発信していきたい。

また、この機器の運用にあたっては、本庁から遠隔操作でタイムリーな情報発信が可能となるクラウドサービスの利用料や電気代等が必要となるが、これら維持管理経費については、広告料収入で賄うなど、可能な限り負担を抑制できる方法につ

いて検討していきたいと考えている。

反対意見

本補正では、川西市開発株式会社貸付金償還金を5億円減額されようとしているが、これまで、市は金融機関からの借入金の損失保証やアステ川西6階部分の買い取りなどの支援を行っている。しかし、同社などの経営改善努力はいまだ十分ではないと考えており、かつ5億円の貸付に係る補正予算にも反対の立場をとっていたことから、本案には賛成できない。

賛成意見

コロナ禍により景気が落ち込む中で、一括で5億円の返済を求めることは同社の経営に及ぼす影響が大きいと判断と考える。今後、やむを得ない判断と考える。今後、分割償還なども含めて、同社と協議していくことを要望し、賛成する。



川西能勢口駅前

厚生文教常任委員会

委員 (委員長) 〇〇 副委員長 〇〇

◎大矢根秀明 〇北野 紀子

中曾千鶴子 磯部 裕子 西山 博大

田中 麻未 江見 輝男 多久和桂子

津田加代子

川西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、第8期介護保険事業計画の策定等に伴い、介護保険料を改定するとともに、税制改正に伴う基礎控除の引き上げ等が加入者の保険料の算定等に影響を及ぼさないようにするため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 介護保険制度は創設から20年が経過し、この間、本市の保険料は据え置かれることなく逡巡しており、令和3年度から始まる第8期介護保険事業計画の保険料についても月額4690円から5200円に増加することとなる。制度を安定的に継続するため、介護保険給付費準備基金を全額取り崩せない事情は一定理解するものの、コロナ禍における高齢者の厳しい生活実態を考えると、準備基金を活用しながら保険料を少なくとも据え置くべきと考えるが、市の考え方を伺いたい。

答弁 コロナ禍の影響がある中で保険料を引き上げることには、

市にとっても非常に難しい判断であった。しかし、本市の高齢化率や認定率の推移等を考慮すると、今回、保険料を据え置くことによつて第9期で急激な引き上げが必要となる可能性があることから、保険料の上昇を緩和するとともに必要なサービスや基盤整備に対する応分負担を求めるといった考え方に基つき、今回は引き上げるといふ判断に至つたものである。

反対意見 市は、総額9億2728万2067円の介護保険給付準備基金から不測の事態に備えて2億円を確保し、残りのおよそ2分の1である3億4520万円を取り崩して保険料の上昇を抑制したとしているが、本市では、介護保険制度が創設されて以降、一度として保険料が据え置かれたことはなく、3年ごとの見直しのたびに増額し続けている。現在、全国民がコロナの影響を受けており、特に厳しい生活を強いられている高齢者にあつては、サービス利用をためらう「介護控え」が既に社会問題化しているなど、第8期については、保険料を据え置く決断をすべきであると考えることから、

本案には賛成できない。
川西市留守家庭児童育成クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、就労している保護者等の利便性向上を図るべく、留守家庭児童育成クラブの開所時間を拡充するとともに、育成料を改定するため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 今回、午後6時30分までの延長育成を午後7時まで延長することに併せて、土曜日や長期休業中の開所時間についても現行の午前8時30分から8時に拡充することであるが、支援員の確保がさらに難しくなることが危惧されることから、支援員の確保対策について伺いたい。

答弁 今回の延長育成と開所時間の変更により、支援員の勤務



時間が年間1万4千時間程度増加することとなる。支援員については、本年1月末に市内全戸にチラシを配布して募集しており、今後とも、求人誌や有料インターネットサイト等を用いるなど、必要な支援員の人数の確保に努めていきたい。

令和2年度川西市一般会計補正予算(第11回)へ分割付託

質問 母子保健推進事業において、3歳児健診での視機能検査の精度を向上させるため、スポットビジョンスクリーナーを導入するとともに、当該検査に従事する看護師等の関連経費を計上している点に関して、実施体制や対象を3歳児とした理由を伺いたい。

答弁 健診対象年齢については、子どもの視力が生後3カ月から6カ月ぐらゐまでに急激に発達し、1歳半から2歳でピークを迎えることから、ある程度安定する3歳児が望ましいと考えている。

今補正では、令和3年度にスポットビジョンスクリーナーを2台導入するための経費を計上しており、実施に当たっては1回の健診に看護師2名を配置することとしている。

なお、健診で異常が見つかった場合は紹介状により医療機関につなげるよう、今後、医師会と詳細について調整する考えである。

建設公企常任委員会

委員 (委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎松隈 紀文 〇谷 正充
大崎 淳正 山下 隆志 岡 留美
黒田 美智 平岡 謙 小山 敏明
久保 義孝

市道路線の認定及び廃止について

本案は、市道路線の認定及び廃止を行うに当たり、議会の議決を求めようとするものである。

質問 今回、廃止しようとする市道1889号については、市

立川西病院跡地整備事業に伴う機能廃止ということだが、廃止後における当該道路の取り扱い等について伺いたい。

答弁 当該路線については、直ちに通行止めになるといふことではなく、市立川西病院跡地整備事業に伴う解体工事等が開始されるまで通行は可能である。今後、関連部署で連携しながら、地域住民に当該道路の取り扱いについて情報提供していきたい。

反対意見 市道1889号の廃止について、必要な情報が周辺住民に伝わっておらず、市の周知方法に違和感があることから本案に反対する。
賛成意見 市道1889号については、市立川西病院跡地の利活用に係る構想に伴う機能廃止であることか

ら、地域住民への丁寧な周知に努めた上で手続を進められるよう要望し、本案に賛成する。

川西市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、若年世帯及び子育て世帯が市営住宅等に入居する機会を拡大し、多世代コミュニケーションの形成を促すため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 裁量階層世帯に追加された子育て世帯について、新たに創設された期限付入居制度の対象としているが、入居期間を「10年を超えない範囲内」と規定した根拠を伺いたい。

答弁 入居期間は、子どもの就学期間等を考慮し、10年と設定しているが、入居期間が満了する日において、同居の子どもが17歳未満である場合、2年を超えない範囲で入居期間を延長できる仕組みを考えている。

また、入居期限を迎える2年程度前から対象世帯の事情を伺い、必要な支援策を講じるよう検討している。

反対意見 市営住宅の解体・集約化に伴う政策空き家が数多く存在し、直近の入居募集の倍率が4倍を超える状況にあって、入居規制を緩和す

ることは拙速であると言わざるを得ず、本案には反対する。

賛成意見 入居要件を緩和し、空き

住戸の活用を図るといった方針については賛同するものの、住居の確保については人生設計の根幹であることから、制度の運用に当たっては細心の注意を払って進められんことを要望し、本案に賛成する。

賛成意見 昨今の厳しい社会情勢下

にあって、子育て世代等を裁量階層世帯に追加することによる市営住宅への入居要件の緩和は、福祉的観点からも喜ばしいことから、本案に賛成する。



市営住宅

質問 本補正では、県からの医療機関再編統合等支援事業補助金として、1億6296万2千円を増額補正しているが、新病院建設に係る基本構想の策定段階から見込まれていたのか。

答弁 この補助金については、令和2年度からの3年間で、兵庫県から約11億円を補助される予定となつているものの、補助金の確定が今年度の夏頃であったため、新病院建設計画の当初では、見込んでいなかったものである。

反対意見 コロナ禍の状況に加え、近年の大規模な自然災害の発生状況を考慮すると、病院の統廃合を進めるべきではなく、地域医療拠点の確保こそが優先されるべきであることから、本案には賛成できない。

反対意見 新病院建設に係る基本構想では、北部診療所により、市の責任で北部地域の医療確保に努めるとされていたにもかかわらず、北部診療所に係る設計業務委託料が皆減となっており、賛成できない。

賛成意見 かねてからタウンミーティング等を実施するほか、今井病院移転案に係るパブリックコメントや地域住民の意見を反映し、小児科を設置する計画に変更するなど、北部地域の医療確保に尽力されていることを評価し、本案に賛成する。

令和2年度川西市病院事業会計補正予算(第2回)

本案は、決算見込みに基づく収入及び支出予算並びに業務の予定量の補正を行うおとするものである。

審議結果等一覧

第1回川西市議会(定例会) ※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
報告 1	専決報告について 専決第1号 令和2年度川西市一般会計補正予算 (第10回)	歳入歳出予算の総額に4億9744万4000円を追加、歳入歳出予算の総額は762億5550万5000円	承認 (全員賛成)	-
同意案 1	教育委員会教育長の選任について	教育委員会教育長の任期満了に伴い、石田剛氏を選任する	同意 (全員賛成)	-
1	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び兵庫県市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する協議について	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する北播磨清掃事務組合が同退職手当組合から脱退すること、並びに市川町外三ヶ市町共有財産事務組合が同退職手当組合に加入することに伴い、規約を変更する	原案可決 (全員賛成)	総務生活
2	川西市花屋敷団地等建替えに伴うPFI事業に係る契約の変更について	花屋敷団地A棟の解体中に判明したアスベストの追加除去工事などを行った結果、施設整備費の支払金額を変更する	//	建設公企
3	市道路線の認定及び廃止について	新名神高速道路事業及び市立川西病院跡地整備事業の実施に伴い、市道路線を4路線認定し、4路線を廃止する	原案可決 (賛成多数)	//
4	川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	第1次総合戦略である「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略」の計画期間が令和元年度末で終了し、令和2年度から第2次総合戦略がスタートしたことから、「あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議」を付属機関から廃止する	原案可決 (全員賛成)	総務生活
5	川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	予防接種による健康被害に関わる2つの付属機関において、審議内容に重複する部分があることから、「川西市予防接種健康被害審査会」を廃止し、「川西市予防接種健康被害調査委員会」に統合する	//	厚生文教
6	川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	川西市公共交通基本計画策定委員会において、平成27年3月に当該計画を策定し、その調査審議が終了するとともに、今後、本市における公共交通に関する諸問題については、既存の「川西市地域公共交通会議」で協議を行うことから、当該委員会を付属機関から廃止する。	//	建設公企
7	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	職員を派遣することができる団体に「公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター」を追加する	//	総務生活
8	川西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	第8期介護保険事業計画の策定等に伴い、介護保険料の改定を行うとともに、税制改正に伴う基礎控除の引き上げ等が加入者の保険料の算定等に影響を及ぼさないようにする	原案可決 (賛成多数)	厚生文教
9	川西市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法等の一部を改正する法律の制定等に伴い、税制改正による基礎控除の引き上げ等が受給者の所得判定に影響を及ぼさないようにするほか、ひとり親に対する控除の見直しに伴う規定の整理を行うとともに、新たに兵庫県が訪問看護療養費に対する助成を実施することに協調し、助成制度の拡充を図る	原案可決 (全員賛成)	//
10	川西市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法施行令の一部を改正する政令の制定に伴い、税制改正による基礎控除の引き上げ等が保険税に係る軽減判定所得基準の算定に影響を及ぼさないようにする	//	//
11	川西市留守家庭児童育成クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	就労している保護者等の利便性の向上を図るため、留守家庭児童育成クラブの開所時間を拡充することに合わせ、育成料を改定する	//	//
12	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部を改正する法律の制定に伴い、建築物エネルギー消費性能確保計画に係る適合性判定制度の申請等に係る審査手数料を改定する	//	建設公企
13	川西市改良住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	花屋敷団地等建替事業に伴い、花屋敷団地の一部を改良住宅から市営住宅に変更する	//	//
14	川西市市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	若年世帯及び子育て世帯が市営住宅等に入居する機会を拡大し、若年層から高齢層までが暮らしやす世代のコミュニティの形成を促す	原案可決 (賛成多数)	//
15	令和2年度川西市一般会計補正予算(第11回)	歳入歳出予算の総額に12億672万9000円を追加、歳入歳出予算の総額は774億6223万4000円	//	総務生活 厚生文教 建設公企
16	令和2年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4回)	歳入歳出予算の総額に2億3991万5000円を追加、歳入歳出予算の総額は154億1352万9000円	原案可決 (全員賛成)	厚生文教
17	令和2年度川西市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2回)	歳入歳出予算の総額に1億1327万1000円を追加、歳入歳出予算の総額は35億3552万2000円	//	//
18	令和2年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第6回)	歳入歳出予算の総額に8289万1000円を追加、歳入歳出予算の総額は137億8493万7000円	//	//
19	令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計補正予算(第2回)	歳入歳出予算の総額に1億9597万1000円を追加、歳入歳出予算の総額は9億5409万8000円	//	総務生活
20	令和2年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1回)	歳入歳出予算の総額から2213万3000円を減額、歳入歳出予算の総額は10億9007万2000円	//	建設公企

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
21	令和2年度川西市水道事業会計補正予算(第2回)	収益的収入で水道事業収益を6億782万9000円減額し29億4779万3000円とし、収益的支出で水道事業費用を3億6103万円減額し29億8905万6000円に、資本的収入を294万4000円増額し3億7151万7000円とし、資本的支出を1660万円減額し9億394万9000円とする。	原案可決 (全員賛成)	建設公企
22	令和2年度川西市下水道事業会計補正予算(第2回)	収益的収入で下水道事業収益を1267万9000円減額し39億1839万5000円とし、収益的支出で下水道事業費用を3093万2000円増額し34億208万7000円に、資本的収入を2791万5000円増額し12億1792万4000円とし、資本的支出を1億1040万円減額し27億555万3000円とする。	〃	〃
23	令和2年度川西市病院事業会計補正予算(第2回)	収益的収入で病院事業収益を9093万9000円減額し9億4613万1000円とし、収益的支出で病院事業費用を1253万2000円減額し8億2929万1000円に、資本的収入を8億2743万8000円減額し75億3401万9000円とし、資本的支出を8億2744万8000円減額し76億3497万円とする。	原案可決 (賛成多数)	〃
24	令和3年度川西市一般会計予算	歳入歳出予算総額563億円(4億円増、前年度比0.7%増)	〃	一般会計 予算特委
25	令和3年度川西市国民健康保険事業特別会計予算	歳入歳出予算総額149億3033万1000円(2億4201万4000円減、前年度比1.6%減)	原案可決 (全員賛成)	特別・公企 会計予算特委
26	令和3年度川西市後期高齢者医療事業特別会計予算	歳入歳出予算総額35億1066万円(8971万9000円増、前年度比2.6%増)	〃	〃
27	令和3年度川西市介護保険事業特別会計予算	歳入歳出予算総額140億5434万7000円(4億3241万6000円増、前年度比3.2%増)	原案可決 (賛成多数)	〃
28	令和3年度川西市用地先行取得事業特別会計予算	歳入歳出予算総額9億5120万5000円(1億9307万8000円増、前年度比25.5%増)	原案可決 (全員賛成)	〃
29	令和3年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計予算	歳入歳出予算総額12億7162万8000円(1億5942万3000円増、前年度比14.3%増)	〃	〃
30	令和3年度川西市水道事業会計予算	歳入歳出予算総額43億1019万5000円(3956万円増、前年度比0.9%増)	〃	〃
31	令和3年度川西市下水道事業会計予算	歳入歳出予算総額60億2451万1000円(4851万5000円減、前年度比0.8%減)	〃	〃
32	令和3年度川西市病院事業会計予算	歳入歳出予算総額89億1723万6000円(3億5630万5000円減、前年度比3.8%減)	原案可決 (賛成多数)	〃
33	令和2年度川西市一般会計補正予算(第12回)	歳入歳出予算の総額から7208万1000円を減額、歳入歳出予算の総額は773億9015万3000円	原案可決 (全員賛成)	厚生文教
委員会 提出 1	川西市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	請願手続きについて、請願者及び紹介議員が署名した場合は押印を省略できるように改める	〃	-
// 2	川西市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	委員会の記録作成に関する取扱いについて、委員長の押印を省略するように変更する	〃	-

賛否の状況

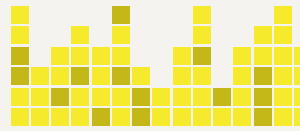
※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：× 欠席：- 採決時に離席：※

議案名	会派名		市民クラブ “改革の風”					明日のかわにし					川西まほろば会					公明党				日本共産党 議員団			無所属				
	議員名		岡留美	福西勝	中井成郷	谷正充	津田加代子	小山敏明	田中麻未	坂口美佳	多久和桂子	斯波康晴	西山博大	松隈紀文	磯部裕子	秋田修一	久保義孝	大矢根秀明	大崎淳正	麻田寿美	平岡謙	江見輝男	北野紀子	吉岡健次	黒田美智	吉富幸夫	中曾千鶴子	山下隆志	
第1回 定例会	議案第3号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第8号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第14号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第15号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第23号		○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
	議案第24号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第27号		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第32号		○	○	○	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

地方自治法の規定により、平岡謙議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

予算委員会報告



一般会計（歳入）

質問 固定資産税の家屋と償却資産については、コロナ禍で事業収入が減少した中小事業者への軽減措置の影響により、約5千万円の減少を見込んでいますが、該当者への周知状況について伺いたい。

答弁 コロナ関連の税制上の特例については、広報誌1月号をはじめ市ホームページで周知を図るほか、償却資産の申告者については、申告書に同封して制度の案内の周知に努めている。

質問 前年度と同額で計上されている国有提供施設等所在市町村助成交付金については、市としても、固定資産相当額の交付、自衛隊阪神病院や総監部も対象とすることを国に求めているが、改善に向けた進展などを含めて現状を伺いたい。

答弁 市として、国に対し要望を毎年行っているが、実現には至っていない。国では、当該交付金を3年ごとに増額しようという動きがあり、直近では、令和元年度に国の予算総額で8億円程度の増額が措置された実績があるため、令和4年度には増額されるものと見込んでいます。

質問 留守家庭児童育成クラブ使用料で、滞納繰越分の収納率を53.0%と見込み、164万3千円を計上しているが、子どもの貧困が社会問題化している中で、3年度の滞納対策について伺いたい。

答弁 胃がん検診は、従来の胃部分工線検査のみから胃内視鏡検査との選択制となったため、医師会との協議の結果、令和3年度からの実施で調整が調ったところである。しかし、コロナワクチンの接種業務を優先しなければならなかったため、胃内視鏡検査については、

◆一般会計予算審査特別委員会			
◎秋田 修一	○麻田 寿美	◎福西 勝	◎磯部 裕子
大崎 淳正	中曾千鶴子	大矢根秀明	黒田 美智
松隈 紀文	中井 成郷	谷 正充	平岡 謙
多久和桂子	小山 敏明		
北野 紀子	久保 義孝		
◆特別会計・公営企業会計予算審査特別委員会			
◎斯波 康晴	○吉岡 健次		
吉富 幸夫	山下 隆志		
西山 博大	岡 留美		
田中 麻未	坂口 美佳		
江見 輝男	津田加代子		

委員長＝◎
副委員長＝○

一般会計（歳出）

質問 滞納者のうち、児童が既に退所しているケースが約6割といった状況である。この使用料については、従来から、催告書の送付や訪問により納付を促すとともに、児童手当等からの天引

答弁 滞納者のうち、児童が既に退所しているケースが約6割といった状況である。この使用料については、従来から、催告書の送付や訪問により納付を促すとともに、児童手当等からの天引

質問 保健対策事業では、従来のがん検診に加え、内視鏡による胃がん検診を新たに医師会に委託しようとしている。今後、医師会にはコロナワクチンの接種にも尽力いただくことから対応が難しいと考えるが、市の考えを伺いたい。また、当該検診の対象年齢についても併せて伺いたい。

答弁 胃がん検診は、従来の胃部分工線検査のみから胃内視鏡検査との選択制となったため、医師会との協議の結果、令和3年度からの実施で調整が調ったところである。しかし、コロナワクチンの接種業務を優先しなければならなかったため、胃内視鏡検査については、

令和3年度での実施を見送る可能性も含めて、現在医師会と調整中である。

なお、同検査の対象年齢は、国の「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、50歳以上、2年に1回を想定している。

質問 観光推進事業において、ひょうご北摂里山ライド（仮称）の開催負担金として30万円が計上されており、北部地域の活性化の観点からも、当該イベントの継続実施が重要と考える。今回は、県が主体となって実施されるが、今後、継続して開催できる運営体制を本市が主体となって構築する考えはないか。



【答弁】 この負担金は、サイクリングを通じて北摂地域の活性化を図るため、兵庫県や近隣市町と連携して開催するイベントに対して、本市も負担するものである。

この事業は、令和3年度に初めて開催するものであり、試行的な意味合いも含むことから、実施主体である県や関係市町等と連携する中で、今後の発展に向けた方策や本市の関わり方について検討を加えていきたいと考えている。

【質問】 福祉複合施設整備事業では、市立川西病院跡地への同施設整備基本構想策定のための業務委託料として350万円が計上されているが、策定までの流れと議会への報告の考え方について伺いたい。

【答弁】 この複合施設は、地域包括支援システムの拠点とすることを整備方針として、令和3年から2力年をかけて基本構想を策定する考えである。その過程では、市民や事業者へ説明を行った上でヒアリングやサウンディング調査を行うとともに、関係所管とも連携して取り組もうとするもので、内容に進展があれば、その都度議会へ報告していきたい。

なお、よりよい複合施設とするために庁内の連携は不可欠と考えており、福祉部を中心に、これまで知見

を積み上げてきた病院改革推進担当をはじめ、その他の部署とも積極的に連携する考えである。



市立川西病院

【質問】 公共交通支援事業において、(仮称)川西市地域公共交通計画の策定に係る業務委託料400万円が計上されているが、高齢化の進行とともに運転免許の返納者も増加することが予想される中で、住民の移動手段の確保は喫緊の課題と考える。

そこで、本計画策定に当たっての市の考え方を伺いたい。

【答弁】 人口減少・高齢化など公共交通を取り巻く環境が変容

する中で、基幹公共交通と地域公共交通を有効に機能させるためには、持続可能な交通サービスの確保が必要であると考えており、市民のニーズを踏まえて新たな計画を策定していきたい。

【質問】 債務負担行為におけるごみ収集体制の見直しにより、ビン収集時のコンテナ配布を廃止し、袋で排出させることは、プラスチックごみを削減する国の動きに逆行するとの声を聞くが、市の考え方を伺いたい。

【答弁】 コンテナ配布の廃止に伴い、コンテナやかごなどを地域で管理していただくことで、例えば、ビン以外の缶、有害ごみなどをコンテナ等で排出することも想定され、全体として袋の利用の削減につながるものと考えており、このような動きが全市的に広がることを期待している。

【反対意見】 コロナ禍の影響による税収の落ち込みは、本来、国が地方交付税率の引き上げで対応すべきところ、収支不足に臨時財政対策債を発行せざるを得ない状況となっており、将来の負担を見据えた財政改革が必要である。

一方、歳出においては、あらゆる業務にPFIや指定管理者をはじめとした民間委託を導入しており、市

民サービスや費用対効果の向上が図られるのか大いに疑問が残る。特に、指定管理者制度が導入される市営住宅において入居者の信頼・安心の確保に不安があり、加えてPFIによる川西せせらぎ公園の高額な維持管理経費などを勘案すると、民間の活用は望ましくないと考えるため、本予算案に反対する。

【賛成意見】 コロナ禍という社会生活を取り巻く環境が一変した中で、新年度においては、ワクチン接種という大事業の着実な推進を期待するとともに、4年度に控える市立総合医療センターの開業や中学校給食の開始に向けた準備の年となることから、市民と対話をしながら市政の歩みを止めることなく、市民の安心・安全のために市政を推進していただくことを強く望み、賛成する。

【賛成意見】 財政再建、コロナ禍といった本市行財政を取り巻く環境が厳しさを増す中で、中学生までの通院医療費の無料化など、新たな課題に取り組もうとする姿勢を評価する。

とりわけ、施政方針に初めてフレイルの問題が取り上げられているが、高齢者の仕事を新たに創造するなど、社会参加を促すことにも取り組まれることを期待し、本予算案に賛成する。

【委員会審査の結果：可決】

特別会 計

国民健康保険事業

質問 特定健診等の受診率向上に向けて、新たにイベント型特定保健指導を実施予定とのことであるが、具体的な取り組み内容を伺いたい。

答弁 この事業については、特定保健指導未受診者を対象に体組成や血管年齢測定等を実施することで、気軽に自身の健康について考える機会を設け、病気の早期発見を目的に実施しようとするものである。

実施会場は今のところ未定だが、対象者約400名に案内文書等を送付し、30名程度の参加を見込んでいく。

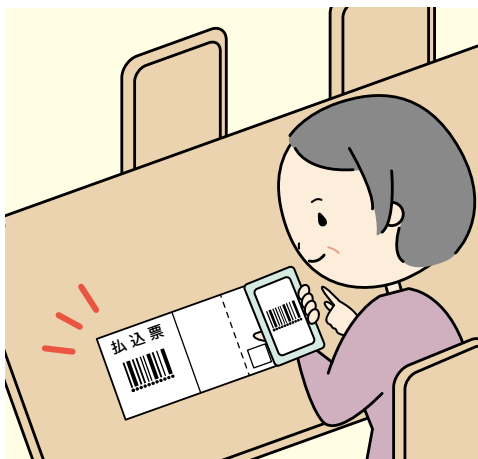
賛成意見 納付率の減少傾向や、経済状況等に起因する受診控えのほか、情報漏洩が危惧されるマイナンバーカードの保険証利用など課題は山積しているが、コロナ禍に鑑みて保険料率が据え置かれたほか、賦課限度額の引き上げや法定軽減の見直しも見送られたため、本案に賛成する。

【委員会の審査結果…可決】

後期高齢者医療事業

質問 普通徴収による保険料現年度分の収納率が前年度より0.1ポイント増となっている点については、新年度から導入するコンビニ収納等の影響と考えられるが、利用想定件数7200件の算定根拠のほか、対象者への周知方法を伺いたい。

答弁 コンビニ利用想定件数は、普通徴収等の被保険者数実績を基に利用の可能性がある人数を算出し、近年導入した市町村の利用率を乗じて積算したものである。また、コンビニ収納やスマートフォンによるバーコード決済の導入に当



たっては、広報誌やホームページに加え、催促状等の封筒にも案内を掲載し、対象者に繰り返し周知を図っていききたい。

【委員会の審査結果…可決】

介護保険事業

質問 業務委託料3534万3千円により地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員に関して、地域における認知状況や3年度の新たな取り組みを伺いたい。

答弁 当該推進員については、地域ケア会議等を通じて一定周知できていると考えるが、今後とも役割等についてさらに理解を得ていきたい。

第8期介護保険事業計画ではチームオレンジの立ち上げを掲げており、新年度は、認知症の理解を深める新たな仕組みを構築することとしている。このチーム立ち上げの際に、地域でコーディネートを担当のが推進員と考えており、認知症サポート等と対話を重ね、地域に応じたチームオレンジを構築する考えである。

反対意見 保険料率が引き上げられるほか、補足給付見直し等の制度改革が行われるなど、市民の負担が増加しているため、反対する。

【委員会の審査結果…可決】

用地先行取得事業

質問 土地開発公社用地取得による公社健全策及び地方債の返済計画について、今後の見通しを伺いたい。

答弁 従来から公社健全策を図るとともに、市の事業に有効活用するため、土地を買い戻しており、公社側の土地保有額は令和2年度末で21億7100万円まで減少している。現在は有効活用が困難な土地が残っているが、活用策を見出しながら、引き続き保有額の圧縮に努めている。

また、市債償還額は中期財政運営プランにも盛り込んでおり、予定どおり返済していく考えである。

【委員会の審査結果…可決】

中央北地区土地画整理事業

質問 PFI事業委託料では、まちづくりコーディネート支援業務費として839万6千円を計

上されているが、当該業務による市民管理団体の育成状況と、新年度における取り組み内容について伺いたい。

答弁 キセフ川西まちづくりでは、設計段階から積極的な市民参加により事業を進めており、その中で「この指トマレプロジェクト」といった、将来公園を自ら維持管理することを視野に入れた市民グループが立ち上がっている。まだ運用の段階ではないが、現在、PFI事業

者や市職員が寄り添い、組織形成に向けて議論を重ねている状況である。

賛成意見 本市の大きなプロジェクトである中央北地区の開発事業は、いよいよ令和4年度に実質的な完了となるが、過去から各地域の公園の維持管理は地域住民が担ってきた経緯があるため、補助金等を含めキセフの内外で取り扱いに差が生じないよう要望し、賛成する。

【委員会の審査結果】：可決

公営企業会計

水道事業

質問 新水道ビジョンでは、5年度以降に赤字となる可能性が示唆されているが、今年度は県営水道の受水単価見直しやコロナ禍など、ビジョン策定時とは状況が変化していることから、これが今後の財政状況と料金改定にどう影響を与えるのか見通しを伺いたい。

令和元年度から10年度を計画期間とする新水道ビジョンのうち、財政収支は3年程度で見直すよう求められており、新年度は経営審議会を開催する予定としている。その検討過程では、受水単価の動向等のほか、料金体系の検討も視

答弁 令和元年度から10年度を計画期間とする新水道ビジョンのうち、財政収支は3年程度で見直すよう求められており、新年度は経営審議会を開催する予定としている。その検討過程では、受水単価の動向等のほか、料金体系の検討も視

野に入れ、今後10年間を見通すこととなる。

なお、受水単価の6円引き下げにより、単年度赤字は若干延伸する見込みである。

賛成意見 近年、国は合理化等の方向を示し、これに従うか否かで補助金等交付を選別する傾向が顕著となっており、住民の命を守る基礎自治体として、毅然と国へ意見するよう要望し、賛成する。

【委員会審査の結果】：可決

下水道事業

質問 雨水事業では設計業務委託料2千万円で浸水シミュレー

ションによる内水浸水想定区域図を作成することであるが、詳細を伺いたい。

答弁 国からの要請と、近年の全水想定区域図の作成に着手するもので、3年度中に区域図を作成し、4年度には洪水ハザードマップをまとめる考えである。なお、想定降雨量は国・県とレベルを合わせ、千年に1回降る可能性のある「想定最大規模降雨」9時間380ミリとする予定である。

賛成意見 下水道事業は、企業債(借金)を抱えながら老朽施設の更新に投資し続ける宿命を抱えているが、課題放置は市民生活に悪影響を及ぼすため、全市的な課題とするよう要望し、賛成する。

賛成意見 耐震化など、更新後の施設への期待は高度化しており、一自治体の努力には無理がある。

また、市民の命と暮らしを守る上、下水道に消費税を転嫁しないよう、国に対する意見具申を要望し、賛成する。

【委員会審査の結果】：可決

病院事業

質問 看護師宿舎・医師住宅等の解体のため、駐車場用地借上料16台分として264万5千円を計

上しているが、解体着手後には合計何台の駐車場が使用可能か伺いたい。

答弁 現駐車場はスタッフ利用等を含め179台分あるが、解体着手後は44台分となるため近隣に16台を確保したもので、合計60台分となる。

従前と比較すると十分ではないが、スタッフは必要に応じ自ら駐車場を確保するほか、より大規模な協立病院が30台で運用していることを考慮し、当面は新たな駐車場も活用して対応していきたい。

今後とも、他の有効な手立てを模索しながら、検討を続けていく考えである。

反対意見 市の説明は一貫性を欠き、北部の医療体制も案が二転三転するなど、住民の不信感が増している。また、看護師宿舎の解体などは拙速と言わざるを得ず、反対する。

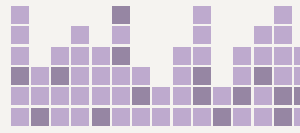
反対意見 一般的に経済的合理性・効率性の追求は重要な視点だが、命を守る病院事業では用いるべきでないため、本予算に反対する。

賛成意見 駐車場確保への対応に関しては残念であるが、今後は市の責務に注力し、勝ち得た信頼を次の病院に生かすよう要望し、賛成する。

賛成意見 新病院建設までに生じる課題には的確に対応するよう要望し、賛成する。

【委員会審査の結果】：可決

総括質問



市民クラブ 改革の風

質問者：岡 留美

コロナ禍における情報発信の取り組み方針は

質問 未曾有の困難とも言えるコロナ禍の中で、市民との対話を重視しながら、市民協働と民間連携をさらに進める、ポストコロナを見据えた新しいまちづくりに取り組むためには、市民への情報発信が重要と考える。

回答 情報発信の方法は、時代とともに変化するものの、市民が「置いていかれる」感を持たないように配慮することが行政の責務である。そこで、必要な情報発信に向けた課題や取り組み方針を伺いたい。

答弁 市では全戸配布している広報誌やホームページをはじめ、SNSも含めたさまざまな媒体を活用して情報を発信している。コロナ禍では情報の即時性と確実性の両立が重要であり、広報誌臨時号の発行やホームページに特設ページを開設するなどの対応を行ったところである。

社会全体の目標であり、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても、地方自治体による推進が求められているものと理解している。

そこで、本市においては、SDGsを原動力とした地方創生、強靱かつ環境にやさしい魅力的なまちづくりについて、経済、環境、社会の3つの観点から、持続可能性をどのように実現していくつもりなのか市の考えを伺いたい。

答弁 本市においては、SDGsの目標達成につながる第5次総合計画の施策目標や第2次総合戦略に掲げる事業を着実に進めていきたいと考えている。

現在、市が進める「何気ない日常に幸せを感じられるまちづくり」では、SDGsの理念を踏まえた経済、社会、環境における統合的な取り組みが必要であるものと認識しており、将来にわたって持続可能なまちづくりを目指すためには、将来を見据えた、本市の大都市近郊における住宅都市の特徴を活かした地方創生を推進していく必要がある。

新年度から策定を始める第6次総合計画においては、SDGsの理念を踏まえ、本市の良さを大切にした新たなまちづくりのビジョンを示していきたい。

その他の質問項目
○第6次総合計画策定に向けた計画

年度の設定期間について ほか
会派所属議員
田中麻未 坂口美佳 多久和桂子
斯波康晴 小山敏明



川西まほろば会

質問者：西山 博大

ポストコロナのまちづくり「職住近接」の内容聞く

質問 施政方針で、大都市の優位性が低下し、近郊の住宅都市の価値を高める絶好の機会として、「職住近接」の新たな価値を生み出していくことをポストコロナの柱とするとされているが、その内容を伺いたい。

また、舎羅林山の開発計画等は、「職住近接」の施策として、空き家対策、雇用施策などと相互に関連することにも、開発に当たってカーボ

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索

ンニユートルを意識せざるを得ないと考えるが、これらの施策を推進するに当たっての市の基本的な考えを伺いたい。

答弁

コロナ禍において、新たな生活様式としてリモートワークの普及など、働き方や住む場所を考え直す契機が生まれている。近い将来、住む場所が単に「寝に帰る」場所ではなく、住みやすく働く場所がある「職住近接」のまちづくりを目指していきたい。

また、舎羅林山については、現在、開発許可の協議を行っているが、今後、道路や上下水道などのインフラ整備をはじめ、産業や環境施策も含めて全庁的な取り組みとしてまちづくりを進めていかなければならない



と認識している。特に、エネルギーなどの環境対策についても検討材料の一つとして取り組んでいきたい。

その他の質問項目

○3年目の市政運営の決意について
ほか

会派所属議員

松隈紀文 磯部裕子 西山博大
秋田修一 久保義孝

公明党

質問者：大矢根 秀明

補助金制度の見直し「ゼロベ-ス」の内容は

質問

新年度は、財政健全化集中期間の最終年度として、2年度にコロナ禍で実施を見送った全事業再検証、補助金制度及び使用料の見直しに取り組みとされているが、その内容について伺いたい。

特に補助金については、ゼロベ-スで見直すという方針が示されており、重複や同種の補助金を整理していくというところであると理解するが、このゼロベ-スの見直しに関する基本的な考え方を伺いたい。

答弁

本市の厳しい財政状況は、今後も続くこと予測されることから、健全な財務体質の構築は急務であると考えている。

このため、持続可能な行財政体質の構築を目指し、全360事業のうち

ち元年度に実施済みの95事業を除く265事業について、事業再検証を実施するとともに、最後の見直しから10年以上が経過している使用料についても、受益と負担の公平性の観点から見直していきたい。

また、補助金については、従前は見直しのルールが機能せず、本質的な見直しがなされていなかったと認識していることから、さまざまな種類の補助金を整理して、統一的な運用方針を定めることによって、補助金の制度改革を実施していきたいと考えている。

その他の質問項目

○コロナ禍での、市民との意見交換並びに市民主体の問題解決へのご所見について
ほか

会派所属議員

大崎淳正 麻田寿美 平岡 讓
大矢根秀明 江見輝男

日本共産党議員団

質問者：北野 紀子

**保育環境の改善に向けた考え
問う**

質問

安心して子育てができる環境整備をうたわれているが、保育現場は、3密が不可避で濃厚接触がなければ成り立たないことから、コロナ禍の中で、子どもの成長発達の保障と感染防止対策を両立す

ることは、現場の工夫や努力だけでは困難である。加えて、保育需要の増大により、保育士の労働条件の改善が進まず、保育士不足は深刻な問題と認識している。

そこで、市単独で保育の最低基準を抜本的に引き上げるとともに、そのための保育士の確保など、保育環境の改善に向けた市の考えについて伺いたい。

答弁

現在、本市における公立の保育所、認定こども園では、市が定める配置基準に従い、国の基準より手厚い配置を行っている。

一方、民間保育施設は、公定価格により運営支援を行っているほか、国の定める配置基準のため人材確保が困難な状況にあることから、他市と協調しながら、国に対して改善へ向けて要望していきたい。また、新年度では、人材確保に向けて、保育所等の事業者に対して保育士用宿舍の借上げに係る費用の一部を補助していくこととしている。

加えて、公立・民間保育施設において、ICTの活用を進めることで保育士の事務負担を軽減し、教育保育環境の充実を図っていきたい。

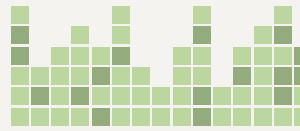
その他の質問項目

○市長として3年目を迎えて、ポストコロナ時代の新しい市政運営へ
ほか

会派所属議員

吉岡健次 黒田美智 北野紀子

一般質問



福祉

川西病院跡地に多世代交流空間を

川西まほろば会 松隈 紀文

質問

市立川西病院の跡地に整備予定の福祉複合施設については、北部地域にとってシンボリック存在となること望ましいと考える。

そこで、複合施設には、障がいの有無や年齢に関係なく人々が集う場所づくりの視点を加え、図書館や公園のほか、レストラン、保育所、障害者就労継続支援事業所等を併せて設置するなど、多世代交流空間を創造する考えはないか伺いたい。

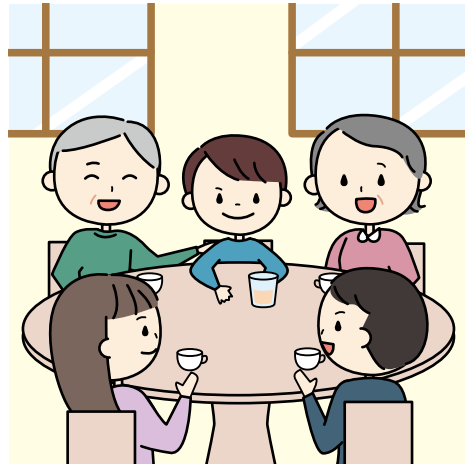
答弁

地域包括ケアシステム構築を目的し、複合施設は1000床規模の特別養護老人ホームを柱とすることを想定しているが、あわせ持つ機能については、さまざまな面から議論していく考えである。

答弁

市立川西病院の跡地活用は、福祉施設が優先となるものの、どのような内容が実現可能であるかといった点は、基本構想を令和3年から2年間で

策定する過程で、地域との意見交換や設置主体である民間事業者との協議を行い、総合的にとりまとめていきたい。



保健衛生

新型コロナウイルスワクチン接種の実施体制は

公明党 江見 輝男

新型コロナウイルスワクチンは、ウイルスとの戦いにおける唯一最大の

武器として注目され、有効性や安全性、

副反応に不安があるものの、市民から大きく期待されている。しかし、接種体制

は、ワクチンそのものや場所・人員の確保、低温による輸送体制の確立など、課

題が山積している。

そこで、個別や集団による接種方式をはじめ、場所や運営人数など、本市における実施体制について、現時点での検討状況を伺いたい。

答弁

国が示した一般市民向けのワクチン接種は、65歳以上の高齢者から始めることとなり、対象者に接種券を郵送したうえで、総合体育館や市民体育館等の会場において、集団接種を中心に実施する必要があると考えている。引き続き、広報誌やホームページ等で周知していきたい。

各集団接種会場での想定接種人数、医師や看護師等の会場スタッフについては、時期が不透明なワクチン供給量を注視しながら、関係機関との調整を含めて現在検討中である。

教育

コロナ禍における学生支援を

日本共産党議員団 吉岡 健次

昨年から続くコロナ禍において、2度にわたる緊急事態宣言の影響などにより、経済活動は鈍化し、市民の生活も逼迫した状態が続いている。

特に学生については、アルバイト等による収入が激減し、学費を捻出するのに苦慮している状況を聞き及ぶことから、学費に対する補助や無償奨学金の創設な

ど、市として学生を支援する考えはないか伺いたい。

答弁

コロナの影響により経済的に困窮している学生に対しては、国が学生支援緊急給付金制度を新たに創設したこと、まずは当該制度の利用を勧奨するとともに、既存の奨学金制度の周知を図りたい。

今後については、国の動向やコロナ禍も含めた社会情勢を注視しつつ、現在貸与型となっている市奨学金制度のあり方について検討していきたいと考えている。

その他の質問項目

○子どもたちの多様性を大切にする取り組みについて

病院

「北部地域の医療対策」考え方を

無所属 山下 隆志

質問

現市立川西病院移転後の市北部地域の医療対策については、北部急病センター整備案から北部診療所整備案となり、さらに現在の今井病院移転案に変更されており、投入される公費が段階的に縮小されるなど、変化する医療体制に地域住民の納得が得られていない面があると考えます。

こうした経過に対する市民感情を踏まえ、市として北部の地域医療をどう支

るのが伺いたい。

答弁 現病院跡地に建設する（仮称）川西リハビリテーション病院は、市内で不足する回復期病床が確保でき、北部地域における地域包括ケアシステムの構築に資するものとなる。

外来機能は、内科1診に加えて、特に住民の要望が強い小児科の設置、休日診療等について、医師会や市内病院等で組織する地域医療連携推進法人が協力して実施する考えである。

また、この法人には地域代表も参加していただくなど、今後とも、市の取り組みに地域の理解が得られるよう努力していきたい。

教育

「ランドセル」慣習を見直す考えはないか

市民クラブ 改革の風 中井 成郷

質問 小学生のランドセルは価格が年々高騰し、現在は5〜6万円が相場とされ、入学前から家計の負担となっている。

ランドセルは入学必需品でないとも市も認めるところであり、他市では長年ナイロン製のランドセルを無償配布している例もあることから、小学1年生に高額なかばんを背負わせる「慣習」は見直すべきと考えるが、市の見解について伺いたい。

答弁

教育委員会や学校は、ランドセルを入学必需品として指定しているものではなく、機能面や安全面を考慮し、保護者が各家庭の事情に応じて準備されていると認識している。

市教委としては、各学校での保護者説明会などで、「機能的で安全面を考慮した上で、荷物を運ぶことができるもの」として各家庭で準備いただくよう、引き続き説明していくものと考えている。

その他の質問項目
○本市の小学校給食の持続可能性について

防災

「災害時の車中泊」市の対応方針は

明日のかわにし 田中 麻未

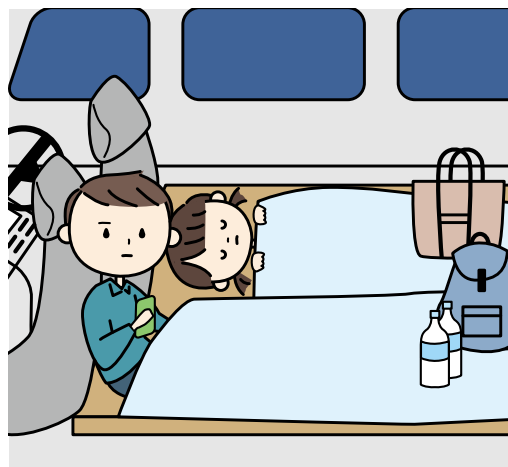
質問 平成28年に発生した熊本地震では、想定以上に車中泊が多かったため、これを教訓として、地域防災計画に対策を盛り込む自治体が散見されている。

ウィズコロナ社会においては、避難所運営もこれまでと同様というわけにはいかず、災害時に専用の区域を指定するなど、市として車中泊にどう対応するのか考え方を伺いたい。

答弁 車中泊については、各避難者が路上等の市内各所に分散することを防ぎ、避難状況を把握するためにも、

指定避難所である学校のグラウンド等において専用スペースを確保するよう想定しているほか、水害時には民間の立体駐車場を使用できるよう、事業者と災害協定を締結しているところである。

しかし、こうした協力体制がありませんら十分に情報発信できていないことは反省すべき点と認識しており、施設への掲示等も含めて周知のあり方を検討し、市民への情報提供に向けた環境を整備していきたい。



子ども

「ヤングケアラー」支援体制の構築を

公明党 麻田 寿美

質問 よくお手伝いをする子として見過ごされがちな「ヤングケアラー」は、コロナ禍を機に問題が深刻化し、テレビ等で報道されてようやく一般

に認知されるようになってきた。

国では全国規模の調査を実施するなど対策に動き出しており、本市においても福祉と教育が連携し、支援体制を構築すべきと考えるがどうか。

答弁 当事者に問題意識がない場合が多く、家庭内のことだけに把握が難しいが、今年度、国から早期発見・ニーズ把握に関するガイドラインや、問題を評価するアセスメントシートが示されており、これを学校や要保護児童対策協議会を中心に周知することから取り組んでいきたい。

答弁 ヤングケアラーを重要な政策課題として受け止め、庁内で共有していきたい。解決に向けては、部署間で情報共有に加え、福祉制度が申請主義である点に鑑み、行政や支援機関等が積極的に働きかけて支援する、アウトリーチ手法について研究する考えである。

その他の質問項目
○子ども食堂について

ヤングケアラー

法令上の定義はなく、一般的に「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子ども」をいう。ケアのために勉強や遊びに、自由に時間を使えないなど、本来守られるべき子ども自身の権利を守られていない子どもとして対策が急がれている。

受理した陳情

- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書について陳情
- 陳情書 (新川西市民病院では地域になくてはならない病院をめざして欲しいです。また、現在の川西市内の休日医療の受け入れにおいて障がい者の対応の改善をお願いします。)

かわにし市議会からのお知らせ

●会議の開催について

次の定例会の予定は下記のとおりです。一般質問を予定している6月10、11、14日は、午前9時30分開議となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほかの議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、これらの会議はマスク着用や手指の消毒、こまめな換気といった基本的な新型コロナウイルス感染症対策を実施した上で開催することとしています。外出そのものが感染リスクを高めまますので、傍聴にお越しいただくことについては、各自で慎重にご判断いただくようお願いいたします。

また、感染拡大の状況等によっては急きよ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。また、市議会事務局へ直接お問い合わせください。

6月 3日 (木)	午前10時	本会議(招集日)
10日 (木)	午前9時30分	本会議(一般質問)
11日 (金)	〃	本会議(〃)
14日 (月)	〃	本会議(〃)
15日 (火)	午前10時	常任委員会
16日 (水)	〃	〃
17日 (木)	〃	〃
25日 (金)	〃	本会議(最終日)

●川西市議会のコロナ対策について

市議会でのコロナ対策の詳細については1月1日付の新年号でお知らせしましたが、3月定例会からは、新たに議場と委員会室(議員協議会室)の席上などにアクリル板を設置したほか、本会議で行われる総括質問・一般質問では、発言者ごとに10分間の休憩をとることとし、その間に発言者は必要に応じて質問者席のアクリル板を消毒剤で清拭するなど、対策強化を図りました。



●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程や会議録だけでなく、議員の政務活動費の状況なども掲載しているほか、本会議の様子を録画で配信しており、現在は3月定例会の様子が最新となっています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催予定に変更がある場合は、随時ホームページに掲載します。



委員長	秋波 修一
副委員長	康晴 一
委員	松田 紀文
	麻田 寿美
	中井 成郷
	吉岡 健次
	坂口 美佳
	大根 秀佳

桜が、入学式を待たずして、ここかしこで咲き誇り、そして惜しまれながら散っていききました。今年も、春が風と共に去りゆき、新緑まぶしい季節となつてまいりましたが、温暖化の影響が、近年は少しずつ季節の移り変わりが早くなっているような気がします。

私たちの川西市は、いわゆる住宅都市ですが、「つぐいすの鳴き声を聞き、懐かしくて引越して来た」との声を聴き、大変感動を覚えたところです。

自然が豊かで、都心に近くて利便性が高く、治安が大変良いというところも大きな魅力ではあります。鳥や花、虫など、まだ気づいていないさまざまな良いところを認め合うことも大切であると思います。まだまだコロナ禍で外出しにくい状況ですが、身近な魅力を探す日々も、考え方によっては悪くないと思います。

今号は、そんな中で行われた3月定例会の様をお届けしましたが、これからはワクチン接種という、大仕事が待ち受けています。私たち市議会も全力で市を後押ししてまいりますので、市民の皆さまも、どうぞご協力をお願いいたします。